

催吐リスク Moderate

腸 CET400→250/weekly+mFOLFOX6 初回

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL 30	1
アービタックス	400	mg/m <sup>2</sup>	生食	250 mL 120	1
エルプラット	85	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	250 mL 120	1
レボホリナート	200	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	250 mL 230	1
5-FU	400	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	50 mL 全開	1
5-FU	2400	mg/m <sup>2</sup>	生食	mL 46h	1-3

## 内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

## 投与基準等

## II. 投与基準

PS 0-2、白血球 3,000/mm<sup>3</sup>以上、12,000/mm<sup>3</sup>以下、好中球 1,500/mm<sup>3</sup>以上、ヘモグロビン 9.0g/dL以上、血小板 10x10<sup>4</sup>/mm<sup>3</sup>以上、総ビリルビン 1.5mg/dL以下、AST 100 U/L以下（肝転移を有する症例は200 U/L以下）、ALT 100 U/L以下（肝転移を有する症例は200 U/L以下）、クレアチニンクリアランス 60mL/min以上、

### III. 減量基準

詳細に関しては添付文書を参照のこと。

好中球数: 500/mm<sup>3</sup>未満: オキサリプラチンを65mg/m<sup>2</sup>に減量、5FUを20%減量

血小板数: 5.0x10<sup>4</sup>/mm<sup>3</sup>未満: オキサリプラチンを65mg/m<sup>2</sup>に減量、5FUを20%減量

消化器系の有害事象Grade 3以上: オキサリプラチンを65mg/m<sup>2</sup>に減量、5FUを20%減量

末梢神経症状: 7日以上持続 オキサリプラチンを65mg/m<sup>2</sup>に減量

皮膚症状Grade3以上: セツキシマブを以下に従い減量。200mg/m<sup>2</sup>→150mg/m<sup>2</sup>→中止

### IV. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3以上 37.5%)

#### Grade3/4

好中球減少30%、皮疹11%、下痢8%、白血球減少7%、倦怠感5%、末梢神経障害4%、貧血4%、血小板減少4%、過敏症4%、手掌足底感覚異常4%

添付参考資料 (文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

OPUS試験

CALBG/SWOG80405(ASCO2014)